

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年10月4日 (2012.10.4)

【公開番号】特開2012-148022(P2012-148022A)

【公開日】平成24年8月9日 (2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2012-031

【出願番号】特願2011-10648(P2011-10648)

【国際特許分類】

A 6 1 H 35/00 (2006.01)

A 6 1 H 33/02 (2006.01)

A 6 1 H 33/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 35/00 K

A 6 1 H 33/02 A

A 6 1 H 33/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月17日 (2012.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

所定値以上の濃度の炭酸ガス、又は酸素、又は炭酸ガスと酸素の混合ガス（以下、「ガス」という）と液体を粉碎溶解させたミスト（以下、「ガスミスト」という）を生体の皮膚又は粘膜に接触させるためのシステムであって、

ガス供給手段と、

該ガス供給手段との接続部と、液体を供給する液体貯留部と、前記ガスが供給されるノズルと、該ノズル先端に前記液体を送液する吸液管と、前記ノズルからのガス流によって吹き上げられた液体を衝突させる衝突部材と、前記ガスが供給され前記ノズルの上部までガスを導く円筒状のガス導入部と、前記ガスミストを収集し排出するドーナツ形のガスミスト排出部と、前記ガス供給手段からのガスを前記ノズルと前記ガス導入部に分岐させる分岐部と、を有するガスミスト生成手段と、

前記生体の皮膚及び粘膜を覆い、前記ガスミスト生成手段から供給されるガスミストを内部に封入する空間を形成する生体カバー部材と、を備え、

前記ガスミスト生成手段において、少なくとも前記液体貯留部を取り外し可能にして他の液体貯留部と取替え可能に構成したことを特徴とするガスミスト圧浴システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記課題を解決するために、所定値以上の濃度の炭酸ガス、又は酸素、又は炭酸ガスと酸素の混合ガス（以下、「ガス」という）と液体を粉碎溶解させたミスト（以下、「ガスミスト」という）を生体の皮膚又は粘膜に接触させるためのシステムであって、ガス供給手段と、そのガス供給手段との接続部と、液体を供給する液体貯留部と、前記

ガスが供給されるノズルと、そのノズル先端に前記液体を送液する吸液管と、前記ノズルからのガス流によって吹き上げられた液体を衝突させる衝突部材と、前記ガスが供給され前記ノズルの上部までガスを導く円筒状のガス導入部と、前記ガスミストを収集し排出するドーナツ形のガスミスト排出部と、前記ガス供給手段からのガスを前記ノズルと前記ガス導入部に分岐させる分岐部と、を有するガスミスト生成手段と、前記生体の皮膚及び粘膜を覆い、前記ガスミスト生成手段から供給されるガスミストを内部に封入する空間を形成する生体カバー部材と、を備え、前記ガスミスト生成手段において、少なくとも前記液体貯留部を取り外し可能にして他の液体貯留部と取替え可能に構成したことを特徴とするガスミスト圧浴システムを提供するものである。